

JBC NHK杯第53回全日本選抜ボウリング選手権

5月17～19日/新狭山グランドボウル



男子・安里秀策、女子・梶田ひかる選手 新婚パワー炸裂で令和最初の覇者に

NHK杯「第53回全日本ボウリング選手権大会」は、前年度のJBC主催大会の入賞者やナショナルチームメンバーなど出場資格を有する男子155名、女子105名が出場して行われたが、男子は安里秀策選手(和歌山)が9年ぶり、女子は梶田(旧姓竹川)ひかる選手が8年ぶり2度目の選手権者に輝いた。(主催：(公財)全日本ボウリング協会)

男子

予選(9G)、準決勝(6G)、決勝(6G)の、21Gトータル上位4名がファイナル(エリミネーター)に進出した。

男子では、元ナショナルチームメンバーの武本真明選手(大阪)が1位通過を果たしたのを始め、2位には4月に高校入学したばかりの浅川啓大選手(兵庫)、4位に高校2年の菅野直人選手(神奈川)のユースナショナルチームメンバー二人、そして3位で進出は、現在のナショナルチームで中心メンバーの一人の安里秀策選手(神奈

川)。

エリミネーター方式は、4名が1Gを投球し、上位2名を選手権者決定戦に選出する。ターキースタートの安里選手がその後もノーミスの226で勝ち抜けた。もう一枠は高校生二人の争いとなったが、10フレをパンチアウトの菅野選手が浅川選手を8ピン差退けた。

優勝決定戦は、3、4フレと連続オープンフレームでつまずいた菅野選手だが、5フレからのターキーで挽回すると、安里選手は7フレからのダブルで再びリード。菅野選手は10フレをパンチアウトでプレッシャーをかけるが、「勝負どころで決めて勝つのが格好いいなと思って、左レーンスタートを選んだ」安里選手がきっちりパンチアウトで締めて、9年ぶり2度目の優勝を飾った。

◎安里選手のコメント

エリミネーターに若い二人が残ってきたときは、やりづらさもあったけど、先輩として大人のボウリングをしようと思った。しっかりスペアを拾いなが

ら、勝負どころで持ってくる、思いどおりのボウリングができた。初優勝から9年経ったけど、もう1回優勝したいと思っていたので、本当によかった。昨年のクリスマスに入籍して、練習では妻(紗希)にアドバイスもするけど、それが自分の発見につながっている面もある。

女子

3年ぶりの優勝を目指す石本美来選手(広島)が1位通過したのを始め、谷原美来選手(三重)、梶田ひかる選手(三重)とナショナルチームメンバーが占めるなか、男子の浅川選手同様、高校に上がったばかりの近藤菜帆選手(愛知)が2位通過を果たした。

決勝エリミネーターでは、1、2位通過の石本選手と近藤選手が最後までレーンの攻略に苦戦。4フレから5連続ストライクを決めた谷原選手と、ストライクはつながらなかったが、ノーミスで193とまとめた梶田選手が優勝決定戦に進んだ。

その優勝決定戦は、梶田選手がわずかにピン差リードで9、10フレ勝負へ。追いかける谷原選手はストライクの欲しい9フレだったが、厚めで④⑥⑩を残す痛恨のスプリット。梶田選手が10フレ1投目、落ち着いてストライクを決め、201:185で谷原選手を退け、令和最初の大会を制した。竹川姓での優勝から8年、4月7日に梶田朋寛プロ(52期)と結婚、梶田

▲9年ぶり2度目の優勝の安里選手(左)と8年ぶり2度目の優勝の梶田選手



▲「冷静なゲーム運びで」若手の挑戦をはね返した安里選手



▲「1月に亡くなった父親にもいい報告ができる」と梶田選手

姓になって最初の大会での優勝となった。

◎梶田選手のコメント

社会人になって仕事との両立が難しく、大会も選んで出る感じだったけど、結婚を機に三重に移って、練習環境も整い、3月の全日本選手権から上り調子で、不安なく臨めた。ただ結

婚してから初めての大会で、空回りだけはしないようにと思っていた。エリミネーターは、なかなかストライクがこなかったけど、スコアラーとしてついてくれた佐藤(悠里)さんから、「とりあえずマークをつけていれば大丈夫」と声をかけてもらって、冷静になった。



▲「緊張よりも楽しんで投げられた」と、17歳らしいけれどものびのびとした表情の菅野選手



▲最近は大大会で優勝争いの常連の谷原選手、「すごき力が入ってしまった」と、優勝を目前に涙をのんだ

●男子

武本真明(大阪)	179
浅川啓大(兵庫)	187
安里秀策(和歌山)	226
菅野直人(神奈川)	195
安里秀策	217
菅野直人	205

優勝決定戦

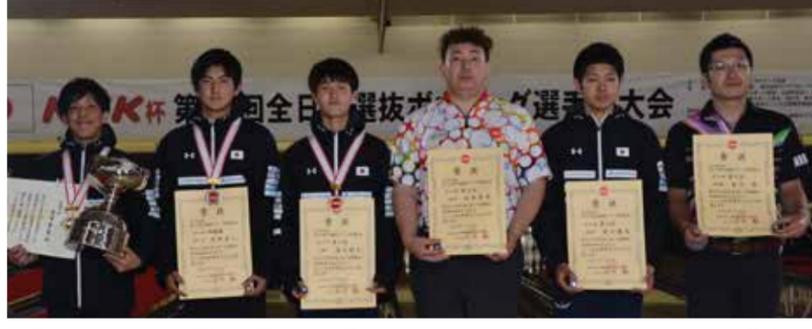
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
▲	9	▲	▲	▲	9	▲	▲	▲	▲
20	39	59	79	98	118	147	167	187	217

●女子

石本美来(広島)	167
近藤菜帆(愛知)	133
谷原美来(三重)	214
梶田ひかる(三重)	193
梶田ひかる	185
梶田ひかる	201

優勝決定戦

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	▲	9	▲	8	▲	▲	▲	7	▲
19	38	56	74	94	120	140	157	166	185



▲男子入賞者、左から優勝・安里、2位・菅野、3位・浅川、4位・武本、5位・原口、6位・金子の各選手



▲女子入賞者、左から優勝・梶田、2位・谷原、3位・石本、4位・近藤、5位・新畑、6位・徳永の各選手

トーナメントカレンダー	
《アマチュア》	
6月15日(土)～16日(日)	ABBF第19回中日本選手権 名古屋グランドボウル(愛知)
6月15日(土)～16日(日)	ABBF第45回西日本選手権 MKボウル上賀茂(京都)
6月21日(金)～23日(日)	JBC第52回全日本シニア選手権 稲沢グランドボウル(愛知)
6月28日(金)～30日(日)	JBC第56回東日本選手権 フジ取手ボウル(茨城)
6月28日(金)～30日(日)	JBC第56回西日本選手権 神戸六甲ボウル(兵庫)
7月6日(土)～7日(日)	ABBF第46回全国実業団3人チーム選手権 稲沢グランドボウル(愛知)